

# 函数方程式論分科会福原賞について

函数方程式論分科会委員会

創設：平成 22 年 3 月 3 日

改訂：平成 28 年 5 月 28 日

改訂：平成 29 年 9 月 11 日

1. 設立趣旨：函数方程式論分科会設立時より尽力された故福原満洲雄教授の御功績にちなみ、函数方程式論分科会で主に活動する日本数学会員研究者のうち、特に優秀な業績を挙げた新進・中堅の研究者に函数方程式論分科会福原賞を授与し、分科会全体の研究・交流の促進をはかる。

2. 運営骨子：

- （選考委員会）函数方程式論分科会委員会内で、選考委員会を設置する。委員は現分科会委員および現委員に含まれない元分科会委員から選出する。委員の任期は 1 年とし再任を妨げない。選考委員長を選考委員の互選で選出する。
- （顕彰対象者）過去の函数方程式論分科会における特別講演者（含総合・企画）、および研究集会「微分方程式の総合的研究」の招待講演者を中心として、函数方程式論分科会で主に研究活動を行っている数学会員のうち、若手・中堅の研究者。
- （対象人数） 毎年 2-3 名まで。
- （候補者推薦） 分科会委員（現・元）は、適当な候補を推薦状を添えて推薦できる。また数学会（函数方程式論分科会）会員は適当な候補を選考委員を通じて推薦できる。
- （副賞） 福原賞副賞として基金から記念品を贈呈する。
- （発表・表彰） 函数方程式論分科会主催の研究集会「微分方程式の総合的研究」にて発表、表彰および副賞の授与を行う。

3. 函数方程式論分科会基金：福原賞副賞を授与するための基金を設立する。基金の原資は函数方程式論分科会の運営資金を元に、随時募金を行う。一口 1 万円にて函数方程式論分科会で活動する会員に募金を募る。函数方程式論分科会基金の管理は函数方程式論分科会委員会が行う。

## 福原賞選考に関する申し合わせ

平成 22 年 3 月 3 日

改訂：平成 29 年 9 月 11 日

福原賞選考・運営については当面以下の事項を申し合わせる。

### 1. (選考内規)

- (選考委員) 選考委員は当面、現分科会委員全員に加え、現分科会委員に含まれない元委員から 2 名を選出して構成する。
- (再検討) はじめの受賞者の発表から 5 年後に、この申し合わせについて検討を加える。また選考委員の任期についても再度規定する。

### 2. (選考委員会開催)

選考委員会は毎年、春の学会において設置し、選考委員会を秋の学会で開催する。

### 3. (選考結果発表・表彰式)

選考結果発表は例年年末に開催される研究集会「微分方程式の総合的研究」において行う。

ただし初年度(2009年度)のみ春の学会で選考し、発表をその年(2010年)の研究集会「微分方程式の総合的研究」において行う。